

# 13 NPO法人 IBA未来塾

## 荒廃農地を活用して野菜づくりで 浮島・原地域活性化活動

計画達成度  
99.2%

団体・法人データ  
代表者:松田啓資  
構成人数 18名  
活動歴 15年  
主な活動地:沼津市西添町  
HP:なし  
Mail:[ibamirai@gmail.com](mailto:ibamirai@gmail.com)

### 事業目的 荒廃農地を活用して野菜づくりで地域を元気にする

1. 荒廃地の活性化は地域の活用の手本
2. 野菜作りは家族連れや障害者との共生になる
3. 高齢者の生き甲斐の場
4. 西洋野菜の開発、南駿農協と連携
5. 次世代の農業従事者育成

### 現状と目標 共生社会を実感するには野菜づくり

共生社会を実感するには野菜づくりが適しています、これまでの実績から視覚障害の県立高校市立高尾園、松風荘、NPOテンプルなど多数受け入れてきました。放課後クラブの子供たちも参加しました。地域交流は青空のもとで行うと効果がすぐ現れます、地区センターの補完の一助にもなります。人口減小に伴いお祭りも減ってきていますがお祭り同様の役目も果たします。但し障害者との共生は普段からの交流と周囲の理解と参加者の理解が前提になります。事前の打ち合わせは勿論のことスタッフ施設の担当者とのコミュニケに十分な時間をかけることが必要です

### 活動と成果 荒廃農地の継続開拓 ①野菜栽培体験②収穫体験③料理体験④婚活イベント

本年度は7/3に高橋川と沼川が氾濫して、当農園も3日間水が引かず、夏野菜が全滅しました。その中で昨年できなかった料理教室が開催できたことはよかったです。又、ジャガイモ・秋冬野菜・婚活兼ほうれん草の収穫祭が開催できたこともよかったです。サツマイモ掘りに児童養護施設や障害者施設の方々にご参加いただき大喜びされたことは活動のし甲斐がありました。地域にも名前が浸透し始めていることが、集客人数が320名から506名に増えていることでわかります。



### 振り返り課題 体制を充実させ沼津西部の交流拠点を目指す

- ・ 現在スタッフは17名となり、強化できましたが、さらに増員して、体制を充実していきます。
- ・ 野菜作り40名、受け入れ可能なので継続して活動します。
- ・ 沼川の恩恵を受けていますので桜並木だけでなく沼川の活性化も進めていきます。
- ・ 果樹園の開設も検討していますので沼津西部の交流拠点を目指します。
- ・ 東西南北のロケーションは沼津で一番ですから笑顔のあふれる地域を目指します。

#### これからの活動予定:

イノシシ・鹿など害獣対策 / 土壌改良 / 活性化と改良の機械の導入 / 駐車場不足解消 / 資材置場や農業消耗品の置場小屋の設置 / トイレの設置 / ポンプ改良 / イベント用テント4基 (雨や夏対策等避難場所)

### 関連図

